



当園では、10月後半より風邪を引いている園児が急に増えました。発熱していないから大丈夫…という事ではなく、「**症状によっておさんのがきちんと睡眠をとれるように、つらくないように**」という視点でも受診をお願いします。

また、保育園側からもこういう視点でも受診をお願いすることも多々あります。

鼻をかめないお子さんはあまりにも鼻水が多いと中耳炎になる可能性があります。喘息を持っているお子さんは風邪を引くことで、発作が出やすくなります。風邪だけではありません。皮膚の痒みも同じです。早めの受診で、少しでも辛そう、苦しそうということを取り除いてあげてください。

保育生活も、体調が優れず、お子さん自身が好きなこと・やりたいことがあっても集中できない、イライラしてしまってお友だちとのトラブルが増えるなど、支障をきたすことにもつながります。

お子さんにとって、保育園での生活が苦しくなく、安全で楽しく過ごせる所にしたいです。よろしくお願いします。

健康に気をつけて、よい年を迎えましょう

ごちそうはひと工夫で楽しんで

お祝いムードで気がゆるむ時期ですが、子どもの誤飲・窒息には十分注意しましょう。

お酒の誤飲

透明なので水と間違えた、甘いのでジュースのつもりで飲んでしまった……などの事故が起こりやすいので、グラスやおちょこは子どもの手の届かないところに。

もちや豆類による窒息

お正月の定番のお雑煮（もち）や黒豆（豆類）は窒息の危険が高い食べ物。ものは小さく切って1つずつ、汁物といっしょに食べさせます。豆類は刻むか、子どもには控えましょう。

生活リズムに気をつけて

ゆっくりしたい時期なので、夜更かし・朝寝坊になりがち。睡眠不足にならないよう、生活リズムを守りましょう。

急病に備えよう

地域の休日診療・救急診療の担当を確認しておきましょう。帰省先・旅行先でも調べておくと安心です。また、保険証や医療証も忘れずに持っていきましょう。



2025年ももうすぐ終わろうとしています。感染症や風邪の際には、お仕事が忙しい中、受診やお洗濯の協力を頂きましてありがとうございました。感謝致します。来年も園児たちの安全・健康に配慮していきたいと思います。体調に気をつけつつ、良い年をお過ごしください。

看護師・松浦